

VLBI懇談会 学生セッション報告

酒井 大裕 (東京大学 博士課程 1年)

学生セッション開催概要

目的

討論を交わすことで交流を深め、互いを高め合うこと

具体的には、

- ・ 学生のみ参加可
- ・ 参加者は全員口頭発表
- ・ 質疑応答時間を長く取って、広くから積極的な発言を推奨（本年度はこれを特に重視）

運営形態

VLBI懇談会役員会に学生幹事として1名 (2014年度より酒井)

- 本シンポとの連携等

メーリングリストやスカイプ上で役割分担・開催内容などを議論、学生幹事の選出

- 学生であれば誰でも参加可能

- メーリングリストに入っていないなくても学生セッションには参加可能

2015年度 学生セッション開催概要

2015/12/23(水・祝) 13:00-18:00

参加者 17名 (学部生からD1まで)

山口大学 9名、茨城大学5名、東京大学2名、総研大1名

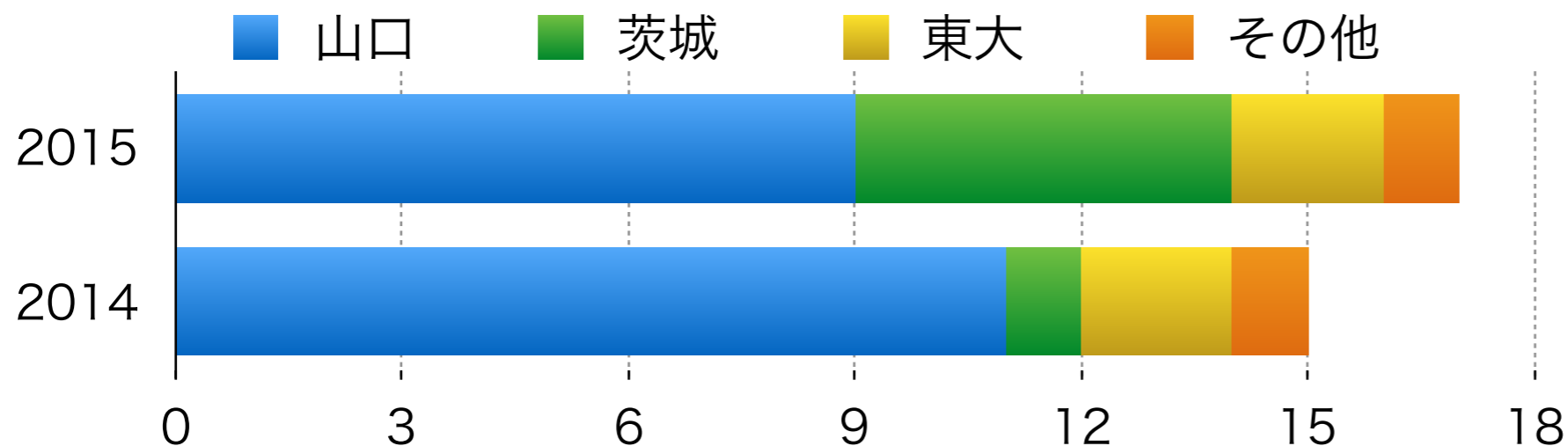
星形成9件、銀河系3件、AGN2件、装置3件

※昨年度

参加者 15名

山口大学 11名、茨城大学1名、東京大学2名、東海大1名

星形成7件、銀河系5件、AGN3件



学生セッションについて

- 参加大学に偏りがある？
 - 昨年度よりは改善
- 増やすためには？（個人的な案）
 - アナウンス時期を早める
 - アナウンスの仕方を工夫（V懇の学生会員の数12名）
 - 必ずしもVLBI観測の発表に限らない（実際、半数はVLBI観測局を使った単一鏡観測）ことを明記
- 就職などで卒業した学生の入れ替わりを把握しきれていない
 - 各大学の指導教官の方々に研究室内での宣伝を依頼
- 旅費

学生の方々ぜひ参加してみてください

引き続き指導教官の方々のご協力を
よろしくお願い致します。

2014年度

2015年度

